





年生にまかせていたけれど今年からは、ほくたちがするばんです。去年の五、六年生を見習って植えていきなさい。花をくばる時、前の六年生はともじっくりと見てなんの花が植えてあるのかをきちんと伝えていました。家のある場所を人がいない家に、ちゃんと紙と花を置いていました。ほくは五年生なのでそれをしなくていいとけいけんいななななななななはすかしながら、はつきりと大きな声で言えたいと思いがつ。また地域の「ありがとう。大切に育てるね」と言ってくれたのがとてもうれしくて今でもおぼえています。今年もそう言ってもらえるようにほくたちががんばりたいなとほくせん。朝見はグラウンドゴルフ、防災訓練などの行事があります。その中でも防災訓練は、一番大切だと思います。地震をうけてもらっているからです。朝見は海に近いので、つなみの朝見は受けやすいです。その時に、ひんなんの練習をしてきたら、みんなが、けがなく逃げられます。朝見はとってもいいことをしてくれるんだな、とあらためて思いました。ほくもこついで訓練に取り組んでいきたいです。



わたしたちの町、朝見

朝見のいい所は自然がいっぱいあることです。秋になると、朝見地区のほとんどの田んぼがこがね色にまみります。すこやかに、秋には、こがね色にまみりました。用水路には魚がいっぱいいます。メダカ、ザリガニ、フナ、ドジョウ、他にもいます。これから魚がふえていくといいし、元気に育ってくれればいいです。そのために、魚救出大作戦を続けてほ

しいです。五年生になって、魚とりをしました。私は、メダカ、ザリガニをつかまえました。つかまえたけれど、死んでしまふとかわいそうなので、にががしました。私がつかまえたのは今とうしているんだらう。

地域の人のいいところはやさしく気軽に話してくれることです。やさしいあいさつをしてくれるので、私もあいさつしようという気になります。私がこまると、声をかけてくれるので、やさしいなと思います。話しかけると、話してくれるのでうれいす。花いっぱい運動のパンジーの花の種は、九月に植えて、十月に、なえを植えかえました。十月は、三センチくらいだったなえは、ぐんぐんのびていきます。去年パンジーの花を配りに行った時、「おじいちゃん、うんがばって」と言ってもらったので、うんがばってと覚えてもらって、こまると朝見をいっぱい話したいです。朝見小学校にはやさしい友達がいっぱいいます。こまるといたら声をかけてたりしています。一人でいると遊びにさそってくれます。やさしい友達が好きです。けん力もするけどこれからも仲良くしたいです。なせ「すてきな朝見」にしたかと言くと、朝見には「すてきな」という言葉がいっぱいつくからです。例えば、すてきな自然や、すてきな友達や、すてきな地域の人などです。これからは、すてきにがんばらなさいです。そのために私もがんばろうと思ひます。私は朝見が大好きです。この朝見に来て良かったと思ひます。地域の人は、いい人たちばかりです。こがね色にまみりました。やさしい、いい友達ばかりです。そんな地域の人が好きです。地城の人だけがよく友達ややさしんな友達も大好きです。今、私は、とても幸せです。不幸になることはほくはないと思ひます。これからこのすてきな朝見を育っていきなさいです。

じょうに近所の人のあたたかみを感じながら、毎日学校までの道を歩いてきたのがなあと思ひました。そう考えると、なんだかおもしろくて、何だ！朝見っていいかも！と思ひてきます。「行ってきます。」と言ひつて外に出て、近所のおばあさんが歩いて来ました。私はドキドキする気持ちをおさえながら大きく深呼吸をして「おはようございます。」大きな声であいさつをしてみました。「おはよう。朝から元気やなあ。おばあさんはニコニコ笑って返してくれました。あいさつするのって恥ずかしいけど、するの気持ちいい。何も華やかなものはない町だけれど、人のあたたかさを身近に感じられる、私はそんな朝見の町が大好きです。」

私は朝見に3ついいことがあると思ひます。1つ目は、自然がいっぱいあることです。自然は、すこい植物だと思ひます。私は1つ目を自然だと思ひて考えてみたのですが、正確な今書いたように、「田んぼしかない」としか浮かびませんでした。なので、本音を言うと、もっと都会に住みたかったな、何でこんなに何も無いやろ...と思ひたりもします。でも、悪いことばかりではありません。私が学校の帰りに一人で帰っているとき、通りかかった近所のおばあさんが「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、嬉しうなりました。そんな時、私はとてもあたたかい気持ちになりました。私のおじいちゃんもお父さん、朝見小学校に通っていても、それを見ても何気なく当たり前のごとく思ひてきたら、おじいちゃんもお父さんも、私と同じように近所の人のあたたかみを感じながら、毎日学校までの道を歩いてきたのがなあと思ひました。そう考えると、なんだかおもしろくて、何だ！朝見っていいかも！と思ひてきます。「行ってきます。」と言ひつて外に出て、近所のおばあさんが歩いて来ました。私はドキドキする気持ちをおさえながら大きく深呼吸をして「おはようございます。」大きな声であいさつをしてみました。「おはよう。朝から元気やなあ。おばあさんはニコニコ笑って返してくれました。あいさつするのって恥ずかしいけど、するの気持ちいい。何も華やかなものはない町だけれど、人のあたたかさを身近に感じられる、私はそんな朝見の町が大好きです。」

私たちが学校へ行く時は見守ってください。花いっぱい運動にも協力していただきなさい。学校の文化祭でもフランクフルトやフライドポテトなどを作ってくれたらいいなと思ひました。私たちが家へ帰るとき「おや、ちやん」と声をかけてくれます。とてもうれしい気持ちになります。私たちが何かが協力してあげたいです。私たちが地域の人の力になれたらいいなと思ひます。四つ目は、学校の児童たちのよさです。これは人数が少ないので関係するけど、生活班などでそうじをする時、とても仲よく話しています。児童会では、みんな全校遊びなどを計画して、楽しく遊んでいます。学年での交流をしたりします。前に一年生と交流した時には、プラ板をわたして手作りの物です。一年生の子にやることでも出来るように心をこめて作りなさい。わたす一年生のランドセルにつけてくれたらいい子を見ました。一生けん命作ってよかったなあと思ひました。一年生の子は楽しく遊んでくれました。とてもうれ

わたしたちの町、朝見

6年 宮前 侑奈

「おはようございます。先に外に出た弟が通りかかった近所のおばあさんに大きな声であいさつしています。私はいつも恥ずかしいが先立ってしまつてそれがおばあさんも弟にあいさつを返しています。うちの近所には小学生がほとんどいないので、名前を言わなくても「O.Oの家の子やなあ」と、みんなが知ってくれています。コンパニオンスーパーも、車で五分以上走らねばならないと何もない。周りは見違えな限り、田んぼ、田んぼ、田んぼ。今何を書きかかると「朝見のいいところ」とって何だろ？と改めて考えてみたのですが、正確な今書いたように、「田んぼしかない」としか浮かびませんでした。なので、本音を言うと、もっと都会に住みたかったな、何でこんなに何も無いやろ...と思ひたりもします。でも、悪いことばかりではありません。私が学校の帰りに一人で帰っているとき、通りかかった近所のおばあさんが「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、嬉しうなりました。そんな時、私はとてもあたたかい気持ちになりました。私のおじいちゃんもお父さん、朝見小学校に通っていても、それを見ても何気なく当たり前のごとく思ひてきたら、おじいちゃんもお父さんも、私と同じように近所の人のあたたかみを感じながら、毎日学校までの道を歩いてきたのがなあと思ひました。そう考えると、なんだかおもしろくて、何だ！朝見っていいかも！と思ひてきます。「行ってきます。」と言ひつて外に出て、近所のおばあさんが歩いて来ました。私はドキドキする気持ちをおさえながら大きく深呼吸をして「おはようございます。」大きな声であいさつをしてみました。「おはよう。朝から元気やなあ。おばあさんはニコニコ笑って返してくれました。あいさつするのって恥ずかしいけど、するの気持ちいい。何も華やかなものはない町だけれど、人のあたたかさを身近に感じられる、私はそんな朝見の町が大好きです。」

わたしたちの朝見の3つ

6年 神崎 友香

私は朝見に3ついいことがあると思ひます。1つ目は、自然がいっぱいあることです。自然は、すこい植物だと思ひます。私は1つ目を自然だと思ひて考えてみたのですが、正確な今書いたように、「田んぼしかない」としか浮かびませんでした。なので、本音を言うと、もっと都会に住みたかったな、何でこんなに何も無いやろ...と思ひたりもします。でも、悪いことばかりではありません。私が学校の帰りに一人で帰っているとき、通りかかった近所のおばあさんが「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、「おや、ちやん、おや、すてきな」と声をかけてくれたら、嬉しうなりました。そんな時、私はとてもあたたかい気持ちになりました。私のおじいちゃんもお父さん、朝見小学校に通っていても、それを見ても何気なく当たり前のごとく思ひてきたら、おじいちゃんもお父さんも、私と同じように近所の人のあたたかみを感じながら、毎日学校までの道を歩いてきたのがなあと思ひました。そう考えると、なんだかおもしろくて、何だ！朝見っていいかも！と思ひてきます。「行ってきます。」と言ひつて外に出て、近所のおばあさんが歩いて来ました。私はドキドキする気持ちをおさえながら大きく深呼吸をして「おはようございます。」大きな声であいさつをしてみました。「おはよう。朝から元気やなあ。おばあさんはニコニコ笑って返してくれました。あいさつするのって恥ずかしいけど、するの気持ちいい。何も華やかなものはない町だけれど、人のあたたかさを身近に感じられる、私はそんな朝見の町が大好きです。」

朝見のいいところ

6年 北村 純菜

私は、朝見にはいいところがいっぱいあると思ひます。その中でも特にいいと思うところ4つを紹介したいと思います。まず1つ目は自然が豊かなことです。学校の周りには田んぼが

あり、植物もいっぱいあります。学校では花いっぱい運動にとりこんでいて、もっと朝見の自然を豊かにするためにがんばっています。2つ目は、学校の児童数が少ないことです。児童数が少ないとみんなの名前や顔をすぐに覚えることができ、遊んだりする機会が増えるからです。3つ目は、朝見小学校は一年一クラスだから六年間、メンバーが変わることがありません。だから、みんなの絆が深まるのでとてもいいと思ひます。いろんな学年の子といっぱい遊べるからとても楽しいです。4つ目は、地域の人がとても優しいことです。私たちが学校へ行く時は見守ってください。花いっぱい運動にも協力していただきなさい。学校の文化祭でもフランクフルトやフライドポテトなどを作ってくれたらいいなと思ひました。私たちが家へ帰るとき「おや、ちやん」と声をかけてくれます。とてもうれしい気持ちになります。私たちが何かが協力してあげたいです。私たちが地域の人の力になれたらいいなと思ひます。四つ目は、学校の児童たちのよさです。これは人数が少ないので関係するけど、生活班などでそうじをする時、とても仲よく話しています。児童会では、みんな全校遊びなどを計画して、楽しく遊んでいます。学年での交流をしたりします。前に一年生と交流した時には、プラ板をわたして手作りの物です。一年生の子にやることでも出来るように心をこめて作りなさい。わたす一年生のランドセルにつけてくれたらいい子を見ました。一生けん命作ってよかったなあと思ひました。一年生の子は楽しく遊んでくれました。とてもうれ

編集後記

平成24年12月青少年育成部主催の第7回ふれあい作文コンクールが開催され優秀作文18編が選ばれました。全作品(全生徒)の素直な心で朝見の良いやつろが沢山書かれていました。私たちが大人は、これからもっともっと明るく元氣な朝見にして、子供たちがのびのびと遊び遊べる地域にしていきたいと思ひます。青少年育成部会長・野林恵利子



平成24年度 本格的な「おやじの料理教室」を開催する。

平成25年1月27日(日) 11時より朝見地区市民センターで開催。

例年は、通年5回程開催していたが本年は今回で終了です。

おやじの料理教室は、夫婦円満、家庭円満な地域が出来ること。



料理は「さかなフライ定食」として調理にかかる。メニューは、「魚フライとトッパ」をやることとなった。食材、エビ(大)イワシ、アジ、シイタケ、サツマイモ、玉ねぎ、レモン、茄子など。始めに、西尾講師が模範調理を披露、アジの三枚おろし、イワシのひらき、エビの調理。そして、みんなが一言になれない手つきで魚をさばっていた。

最後は、キャベツの千切り、レタス、トマト、きゅうりなどを盛り付けを教わる。雑談を交わしながら全員(14名)で楽しく、美味しく頂きました。

「おやじの料理教室」の得意技は後片付けの手際の良さ。皆さん!家庭でも食べた後片付けはやって下さいね!

甲賀市ばんだに自治振興会一行20名が視察・交流会 質疑応答

平成25年2月4日13時30分朝見地区市民センターにて。自己紹介の後、防災の取り組みを田上防衛部長がスライドを使って、朝見の特徴的な訓練を説明する。

その後、質疑応答が行われ意見交換を行いましたので一部を紹介いたします。

Q: 実践的な訓練をされているが、自助・共助・公助どのようになっているのでしょうか。

A: 自助は一番大事なこと、自分が助からなければ何もできませんから、広報誌でも

訓練でも一番強調しています。そのために家具等のお転倒防止の呼び掛け、靴、ライト、ラジオ等の防災グッズの備え、火災報知器の設置を進めています。

Q: 朝見地区は津波の来ない所でしょうか。

A: 海抜2m、6mの所です。東海南海南海地震のような巨大地震が起こり6m以上の津波が起きると大変なことになります。そのため避難場所は海抜2.4mある、高校や市の総合運動公園へ避難するように指定しています。また、広域的に連携をしようと言うことから中学校区(6住民協議会)で、防災ネットワーク検討会を立ち上げて連携の対策を進めています。



Q: 防災訓練の参加者を増やすにはどのような努力をされていますか。

A: 平成17年に第1回の防災訓練をした時には450名が集まりました。第2回目は雨の中での訓練となり早朝から開催の問い合わせが多かったですが、災害は天候には関係ないとして実施「雨中訓練」として言い伝えられています。350名が参加しました。

意識を高めています。A4 私たちは阪神淡路大震災や東日本大震災を元に訓練のあり方を考えてきました。が、一番重要視しているのは「安全神話を作り出していること」人間は不安を感じると「自分は大丈夫!」「自分は安全だ」という感覚が、知らず知らずの間に自分を信じ込ませようとしてしまうことです。

地域は同じ運命共同体なんだとやらなければ、安心安全のまちづくりは叶いません。A2 私たちは自分たちで作った「自主防災行動マニュアル」にそって訓練を行なっていますので、自治会役員始め町自主防災隊長はそれぞれ役割がありますから「役割カード」を胸にぶら下げて訓練を行います(役割カード)の裏面には、自分は何をすべきか書かれています。(自治会役員が1年交代で慣れないため)

A3 幼稚園、小学校と合同訓練を共催しています。当時の校長から、住民が自主的に素晴らしい訓練をしている、是非とも子供たちと一緒にさせて欲しいとの申し込みがあり、日曜登校で子供たち全員と訓練することにになりました。

学校は避難訓練が訓練でしたが、合同ですることにより濃密な体験、起震車体験、救助袋卵殻疑似ガレキ体験など多くの訓練を受けることができますようにしています。そして訓練お模倣は家庭に帰ってからは家族ぐるみの話題となり地域全体の防災意識を高めています。

### 「朝見の自然」

